



中部大学春日丘高校
平成30年度 第1回 運営指導委員会
開催報告

● 運営指導委員会の開催

SGH指定校は外部の方に運営指導委員を委任することが定められています。本校では春日井市の企業、行政機関、教育機関などに運営指導委員をお願いし、取り組みについて報告し助言をいただいています。12月15日(土)の委員会はランチミーティングの形を取り、「SDGs春日丘環太平洋グローバルミーティング」開催に当たって海外よりお招きした先生方にもご参加いただき企画に関するご感想を伺いました。

◆ 日時

12月15日(土) 12:50~13:30

◆ 場所

学校法人中部大学本部応接室

◆ 出席者

外部指導委員 4名

愛知教育大学

戸田 茂 委員

春日井市教育委員会

富澤 達成 委員

愛知県立春日台特別支援学校

加藤 守松 委員

木野瀬印刷株式会社

木野瀬 吉孝 委員

海外招待教員 5名

インドネシア・カナダ・タイ・韓国よりグローバルミーティングにお越しいただいた先生方

本校教職員

二村校長、太田副校長 ほか12名

◆ 運営指導委員会議事内容

1、事業報告

SGH開発推進部主任の星野より、本校におけるSGH過去4年間の取り組みおよび今回開催したSDGs春日丘環太平洋グローバルミーティングに関する説明を行いました。

2、校長ご挨拶

二村校長より日頃のお礼と本校の現状についてお話ししました。

3、海外招待教員ご感想(一部抜粋)

海外招待教員の皆様よりグローバルミーティングに対するご感想をいただきました。

- ・生徒たちの未来につながる学習を行う機会を与えてもらい感謝している。このような場を通して、生徒たちが未来に対して責任を負う態度を育てていくことが大切だと思う。
- ・わが国にあっても持続可能な社会を実現するための取り組みを政府を挙げて行っている。このような機会を生かし次世代のリーダーたちが育つことを期待したい。
- ・生徒のみならず私自身も学ぶことが多かった。世界の諸問題につき、生徒たちが自ら解決策を考えるためのきっかけとなった。
- ・生徒たちは各国の文化の違いに驚くとともに、共通する部分についても気づいたことと思う。人間は地球から様々なものを借りているという考え方がわが国にはあるが、今回の発表などを聴きそれを改めて実感した。
- ・15年に渡って日本語の授業を担当しているが、どう教えればよいか常に考えている。グローバルミーティング内の教育講演会を聴講し、とても参考になった。

4、ご指導及びご助言

事業報告を受け、外部指導委員の皆様よりご助言をいただきました。

- ・グローバルな場で、生徒たちが共通するテーマで語り合えるのは素晴らしいことだ。できることならばアメリカからも生徒を招き、自分たちの国についてどう考えているか聞きたかった。
- ・高大連携を進めていく中で、大学が近くにある強みを十分に生かしていると感じた。
- ・アクションプランについてだが、様々な国の生徒が話し合っ一つのプランを作るということはずばらしい。
- ・SGHとしての5年が終わったあとも、基金を設けこのような活動ができるよう校長にお願いしたい。
- ・生徒たちの学習にとって恵まれた環境が整っていると感じた。生徒たちがいわゆる課題探究型の学習をここまでこなせることに感銘を受けた。

お忙しいなか、長時間に渡りご参加いただきましてありがとうございました。いただいたご助言を元にさらなる活動の充実を目指します。

5、まとめ

太田副校長より本日のまとめと今後のお願いを申し上げます。

6、記念撮影

